

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年5月19日

(あて先) 姫路市長

提出者

住所

姫路市大津区勘兵衛町4丁目1番

氏名 (法人にあつては名称及び代表者の氏名)

虹技株式会社

代表取締役社長 山本幹雄

電話番号

079-236-3257

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和6年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	虹技株式会社
事業場の所在地	姫路市大津区勘兵衛町4丁目1番
事業の種類	鉄鋼業 銑鉄鋳物製造業(2251)
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	4,175 t	全処理委託量	4,175 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	2,200 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	4,010 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t

※事務処理欄

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 鋳さい)

不要物等発生量

(単位:t)

有償物量

排出量

①3,786

項目	実績値
① 排出量	3,786
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0
⑤ 自ら熱回収を行った量	0
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩ 全処理委託量	3,786
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	1,960
⑫ 再生利用業者への処理委託量	3,573
⑬ 熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭ 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

自ら直接再生利用した量

②0

自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

③0

自ら中間処理した量

④0

④のうち熱回収を行った量

⑤0

自ら中間処理した後の残さ量

⑥0

自ら中間処理により減量した量

⑦0

自ら中間処理した後再生利用した量

⑧0

自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑨0

⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑫3,573

⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑬

⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

⑭

直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑩3,786

⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑪1,960

直接中間処理委託量

⑩63,573

直接委託中間処理後の残さ量

⑩80

直接最終処分委託量

⑩7213

直接委託中間処理後の最終処分量

⑩90

委託中間処理後の再生利用量(⑩-⑩9):

0

自社処理を行わずに直接委託処理した量(⑩+⑩7)

備考

1) ⑩6~⑩9は、法定様式に追加して、報告をお願いしています。

2) の部分に入力してください。

3) 次の2項目がゼロになるように、各欄に数値を入力してください。

項目	①-(②+③+④+⑩6+⑩7)	⑩-(⑥-⑧-⑨+⑩6+⑩7)
計算値	0	0
正誤チェック	正	正

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：ばいじん)

不要物等発生量

(単位:t)

有償物量

排出量

①65

項目	実績値
① 排出量	65
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0
⑤ 自ら熱回収を行った量	0
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩ 全処理委託量	65
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫ 再生利用業者への処理委託量	65
⑬ 熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭ 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

自ら直接再生利用した量

②0

自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

③0

自ら中間処理した量

④0

④のうち熱回収を行った量

⑤0

自ら中間処理した後の残さ量

⑥0

自ら中間処理により減量した量

⑦0

自ら中間処理した後再生利用した量

⑧0

自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑨0

⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑫65

⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑬

⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

⑭

直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑩65

⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑪0

直接中間処理委託量

⑩65

直接委託中間処理後の残さ量

⑩0

直接最終処分委託量

⑩0

直接委託中間処理後の最終処分量

⑩0

委託中間処理後の再生利用量(⑩-⑩):

0

自社処理を行わずに直接委託処理した量(⑩+⑩)

備考 1) ⑩～⑩は、法定様式に追加して、報告をお願いしています。 2) の部分に入力してください。

3) 次の2項目がゼロになるように、各欄に数値を入力してください。

項目	①-(②+③+④+⑩+⑩)	⑩-(⑥-⑧-⑨+⑩+⑩)
計算値	0	0
正誤チェック	正	正

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：ガラス・陶磁器屑)

不要物等発生量

(単位:t)

有償物量

排出量

①27

項目	実績値
① 排出量	27
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0
⑤ 自ら熱回収を行った量	0
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩ 全処理委託量	27
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫ 再生利用業者への処理委託量	10
⑬ 熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭ 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

自ら直接再生利用した量

②0

自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

③0

自ら中間処理した量

④0

④のうち熱回収を行った量

⑤0

自ら中間処理した後の残さ量

⑥0

自ら中間処理により減量した量

⑦0

自ら中間処理した後再生利用した量

⑧0

自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑨0

直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑩27

⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑪0

⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑫10

⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑬

⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

⑭

直接中間処理委託量

⑯10

直接委託中間処理後の残さ量

⑰0

直接最終処分委託量

⑱17

直接委託中間処理後の最終処分量

⑲0

委託中間処理後の再生利用量(⑲-⑱):

0

自社処理を行わずに直接委託処理した量(⑯+⑰)

備考

1) ⑯～⑲は、法定様式に追加して、報告をお願いしています。

2) の部分に入力してください。

3) 次の2項目がゼロになるように、各欄に数値を入力してください。

項目	①-(②+③+④+⑯+⑱)	⑩-(⑥-⑧-⑨+⑯+⑱)
計算値	0	0
正誤チェック	正	正

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： **廃プラスチック**)

不要物等発生量

(単位:t)

有償物量

排出量

①113

項目	実績値
① 排出量	113
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0
⑤ 自ら熱回収を行った量	0
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩ 全処理委託量	113
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	34
⑫ 再生利用業者への処理委託量	79
⑬ 熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭ 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

自ら直接再生利用した量

②0

自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

③0

自ら中間処理した量

④0

④のうち熱回収を行った量

⑤0

自ら中間処理した後の残さ量

⑥0

自ら中間処理により減量した量

⑦0

自ら中間処理した後再生利用した量

⑧0

自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑨0

⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑫79

⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑬

⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

⑭

直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑩113

⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑪34

自社処理を行わずに直接委託処理した量(⑩+⑪)

直接中間処理委託量

⑩79

直接委託中間処理後の残さ量

⑩0

直接最終処分委託量

⑪34

直接委託中間処理後の最終処分量

⑪0

委託中間処理後の再生利用量(⑩-⑪):

0

備考 1) ⑩～⑪は、法定様式に追加して、報告をお願いしています。 2) の部分に入力してください。

3) 次の2項目がゼロになるように、各欄に数値を入力してください。

項目	①-(②+③+④+⑩+⑪)	⑩-(⑥-⑧-⑨+⑩+⑪)
計算値	0	0
正誤チェック	正	正

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：木屑)

不要物等発生量

(単位:t)

有償物量

排出量

①47

項目	実績値
① 排出量	47
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0
⑤ 自ら熱回収を行った量	0
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩ 全処理委託量	47
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	25
⑫ 再生利用業者への処理委託量	47
⑬ 熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭ 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

② 自ら直接再生利用した量

③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④ 自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥ 自ら中間処理した後の残さ量

⑦ 自ら中間処理により減量した量

⑧ 自ら中間処理した後再生利用した量

⑨ 自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩ 直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

⑮ 委託中間処理後の再生利用量(⑮-⑮):

⑯ 直接中間処理委託量

⑰ 直接最終処分委託量

⑱ 直接委託中間処理後の最終処分量

⑲ ⑱のうち再生利用業者への処理委託量

⑳ ⑲のうち再生利用業者への処理委託量

㉑ ⑲のうち熱回収認定業者への処理委託量

㉒ ⑲のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

自社処理を行わずに直接委託処理した量(⑮+⑰)

委託中間処理後の再生利用量(⑮-⑮):

備考 1) ⑮～⑲は、法定様式に追加して、報告をお願いしています。 2) 黄色の部分に入力してください。 3) 次の2項目がゼロになるように、各欄に数値を入力してください。

項目	①-(②+③+④+⑮+⑰)	⑩-(⑥-⑧-⑨+⑮+⑰)
計算値	0	0
正誤チェック	正	正

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：金属くず)

不要物等発生量

(単位:t)

有償物量

排出量

①10

項目	実績値
① 排出量	10
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0
⑤ 自ら熱回収を行った量	0
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩ 全処理委託量	10
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫ 再生利用業者への処理委託量	0
⑬ 熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭ 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

② 自ら直接再生利用した量0

③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量0

④ 自ら中間処理した量0

⑤ ④のうち熱回収を行った量0

⑥ 自ら中間処理した後の残さ量0

⑦ 自ら中間処理により減量した量0

⑧ 自ら中間処理した後再生利用した量0

⑨ 自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量0

⑩ 直接及び自ら中間処理した後の処理委託量10

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量0

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量0

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

⑮ 自社処理を行わずに直接委託処理した量(⑩+⑪)10

⑯ 直接中間処理委託量0

⑰ 直接最終処分委託量10

⑱ 直接委託中間処理後の最終処分量0

⑲ 委託中間処理後の再生利用量(⑱-⑲):0

備考 1) ⑯～⑲は、法定様式に追加して、報告をお願いしています。 2) 黄色の部分に入力してください。 3) 次の2項目がゼロになるように、各欄に数値を入力してください。

項目	①-(②+③+④+⑯+⑰)	⑩-(⑥-⑧-⑨+⑯+⑰)
計算値	0	0
正誤チェック	正	正

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：汚泥)

```

    graph LR
      A[不要物等発生量  
(単位:t)] --> B[排出量  
① 121]
      A --> C[有償物量]
      B --> D[自ら直接再生利用した量  
② 0]
      B --> E[自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量  
③ 0]
      B --> F[自ら中間処理した量  
④ 0]
      B --> G[④のうち熱回収を行った量  
⑤ 0]
      F --> H[自ら中間処理した後の残さ量  
⑥ 0]
      F --> I[自ら中間処理により減量した量  
⑦ 0]
      H --> J[⑧ 0]
      H --> K[⑨ 0]
      H --> L[⑩ 121]
      L --> M[⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量  
⑪ 16]
      L --> N[⑩のうち優良認定処理業者以外の処理委託量  
⑫ 105]
      L --> O[⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量  
⑬ 0]
      L --> P[⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量  
⑭ 0]
      L --> Q[自社処理を行わずに直接委託処理した量(⑯+⑰)  
⑯ 105]
      Q --> R[直接中間処理委託後の残さ量  
⑱ 0]
      Q --> S[直接最終処分委託量  
⑲ 16]
      R --> T[委託中間処理後の再生利用量(⑳-㉑) : 0]
  
```

項目	実績値
① 排出量	121
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0
⑤ 自ら熱回収を行った量	0
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩ 全処理委託量	121
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	16
⑫ 再生利用業者への処理委託量	105
⑬ 熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭ 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

(第2面)

備考 1) ⑯～⑲は、法定様式に追加して、報告をお願いしています。 2) の部分に入力してください。
3) 次の2項目がゼロになるように、各欄に数値を入力してください。

項目	①-((②+③+④+⑫+⑰))	⑩-((⑥-⑧-⑨+⑫+⑰))
計算値	0	0
正誤 チェック	正	正

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 廃油)

不要物等発生量

(単位:t)

有償物量

排出量

①72

項目	実績値
① 排出量	72
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0
⑤ 自ら熱回収を行った量	0
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩ 全処理委託量	72
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	72
⑫ 再生利用業者への処理委託量	72
⑬ 熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭ 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

自ら直接再生利用した量

②0

自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

③0

自ら中間処理した量

④0

④のうち熱回収を行った量

⑤0

自ら中間処理した後の残さ量

⑥0

自ら中間処理により減量した量

⑦0

自ら中間処理した後再生利用した量

⑧0

自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑨0

⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑫72

⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑬

⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

⑭

直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑩72

⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑪72

直接中間処理委託量

⑩672

直接委託中間処理後の残さ量

⑩80

直接最終処分委託量

⑩70

直接委託中間処理後の最終処分量

⑩90

委託中間処理後の再生利用量(⑩-⑩9):

0

自社処理を行わずに直接委託処理した量(⑩+⑩7)

備考

1) ⑩~⑩9は、法定様式に追加して、報告をお願いしています。

2) の部分に入力してください。

3) 次の2項目がゼロになるように、各欄に数値を入力してください。

項目	①-(②+③+④+⑩6+⑩7)	⑩-(⑥-⑧-⑨+⑩6+⑩7)
計算値	0	0
正誤チェック	正	正

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 廃酸)

不要物等発生量

(単位:t)

有償物量

排出量

①7

項目	実績値
① 排出量	7
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0
⑤ 自ら熱回収を行った量	0
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩ 全処理委託量	7
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	7
⑫ 再生利用業者への処理委託量	7
⑬ 熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭ 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

自ら直接再生利用した量

②0

自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

③0

自ら中間処理した量

④0

④のうち熱回収を行った量

⑤0

自ら中間処理した後の残さ量

⑥0

自ら中間処理により減量した量

⑦0

自ら中間処理した後再生利用した量

⑧0

自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑨0

直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑩7

⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑪7

⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑫7

⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑬

⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

⑭

直接中間処理委託量

⑯7

直接委託中間処理後の残さ量

⑰0

直接委託中間処理後の最終処分量

⑱0

委託中間処理後の再生利用量(⑱-⑲):

0

自社処理を行わずに直接委託処理した量(⑯+⑰)

備考

1) ⑯～⑲は、法定様式に追加して、報告をお願いしています。

2) の部分に入力してください。

3) 次の2項目がゼロになるように、各欄に数値を入力してください。

項目	①-(②+③+④+⑯+⑰)	⑩-(⑥-⑧-⑨+⑯+⑰)
計算値	0	0
正誤チェック	正	正

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 廃アルカリ)

不要物等発生量

(単位:t)

有償物量

排出量

①7

項目	実績値
① 排出量	7
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0
⑤ 自ら熱回収を行った量	0
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩ 全処理委託量	7
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	7
⑫ 再生利用業者への処理委託量	0
⑬ 熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭ 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

自ら直接再生利用した量

②0

自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

③0

自ら中間処理した量

④0

④のうち熱回収を行った量

⑤0

自ら中間処理した後の残さ量

⑥0

自ら中間処理により減量した量

⑦0

自ら中間処理した後再生利用した量

⑧0

自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑨0

直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑩7

⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑪7

⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑫0

⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑬

⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

⑭

直接中間処理委託量

⑯0

直接委託中間処理後の残さ量

⑰0

直接委託中間処理後の最終処分量

⑱0

直接最終処分委託量

⑲7

委託中間処理後の再生利用量(⑱-⑲):

0

自社処理を行わずに直接委託処理した量(⑯+⑰)

備考

1) ⑯～⑲は、法定様式に追加して、報告をお願いしています。

2) の部分に入力してください。

3) 次の2項目がゼロになるように、各欄に数値を入力してください。

項目	①-(②+③+④+⑯+⑲)	⑩-(⑥-⑧-⑨+⑯+⑲)
計算値	0	0
正誤チェック	正	正

(第3面)

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときには、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。